

今後の予定

【すくすくコホート三重】

今年の夏休みは、小学2年生20名の方に来ていただいて、年長時以来の観察を行っています。年長時にお越しいただいた方全員が、引き続き来てくださる予定で、知能検査をはじめとするいろんな課題にチャレンジしていただきます。1年生の117名のみなさまには、就学後の質問紙調査にご協力いただきました。プレゼントのリクエストを自分で書いてくれた子どもも多く、微笑ましく見せていただいています。秋にも同様の調査を行いますので、お手数をおかけしますが、ぜひご協力をお願いいたします。NICUの方は、晩秋まで5歳の観察が続きます。とても小さかったお子さまが一人前のようすで課題に取り組んでいる姿を見ると、最初の主治医に見せてあげたいなあと思います。

【武庫川チャイルドスタディ】

5歳の観察がほぼ終了に近づいています。現在は晩秋からスタートする6歳の観察にむけても準備中です。毎年、子どもたちがぐんぐん成長して行くようすを間近で見ていると、研究の楽しさがさらに増してきます。

データ分析作業においては、今年から子どもの成長過程を専門に分析する玉井航太先生を外部研究員としてお迎えしております。基本的な子どもの発達過程について情報分析が進むものと期待しています。

編集後記

研究の準備期間なども含めると、これまで10年近く継続してみなさまのご協力をいただいております。ニューズレターを発行するたびにこれまでの軌跡を振り返り、またこの先の子どもの将来を楽しみにしています。すくすくコホート研究は来年度が終了予定となっておりますが、さらに研究継続できるよう現在模索しています。

また、このような長丁場での研究となっておりますので、みなさまのご住所などに変更が生じた場合は、各研究グループの問い合わせ先までどうかご連絡をお願いします。



平成24年度
夏号

すくすくコホート ニューズレター



【すくすくコホート三重】

〒514-1101 三重県津市久居明神町 2158-5 三重中央医療センター 臨床研究部内
TEL: 059-259-1211 (代)

【武庫川チャイルドスタディ】

〒663-8558 兵庫県西宮市池開町 6-46 武庫川女子大学 子ども発達科学研究センター
TEL/FAX: 0798-45-9880

すくすくコホート三重・武庫川チャイルドスタディ

大都市と地方では、子どもや子育てに地域差はできるのかな？

子どもたちは、周りの環境からたくさんの影響を受けて育っていきます。育つ環境は一人ひとり違いますが、例えば“地域”というような大きな括りの中で環境が似てくる部分もあります。そこで今回は、すすくコホートが2005年に開始された当初にご協力いただいていた、三重県（現すすくコホート三重の成熟児コホート）と大阪府のコホートのデータを使って、どのような地域差があるのか比較してみたいと思います。

※分析対象：0歳4ヵ月時質問票。三重県189名、大阪府280名分のうち、有効回答に対する集計。すすくコホート三重のNICUコホート、武庫川チャイルドスタディにご参加のみなさんのデータは含まれておりません。

まず、表1は出生時体重などの比較ですが、これらにはほとんど地域差がないようです。

では、子どもの生活リズムのひとつとして、4ヵ月時の入眠時刻を比較してみましょう。図1は「赤ちゃんが何時頃に眠りますか？」への回答です。

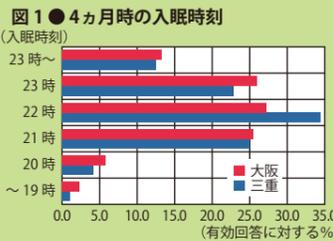
三重県と大阪府で比較すると、三重県では22時までに眠りにつく子どもが多く、大阪府の方に『夜更かしさん』が多いようです。このような生活習慣に関わる部分では、大人の生活リズムに合わせて子どものリズムが形成されることが推察されます。

では、大人の生活はどのように違っているのでしょうか。テレビ・ビデオの視聴時間（表2）、1ヵ月に読んだ本の冊数（表3）を見てみましょう。三重県のお母さまのテレビ・ビデオの平日の視聴時間は、大阪府よりやや短く、読んだ本（週刊誌などを除く）の冊数はやや多くなっていました。

それでは、もう少し広く、お母さまの育児を支援する環境はどうでしょうか。表4には、母親学級への参加の割合が示されています。こちらでは、三重県のお母さまの参加割合が約10ポイント高くなっていました。ところが、両親とも参加する割合は、大阪府の方が少し高いようです。このように、子どもたちが育つ環境に少しずつですが地域差のあることが分かります。

私たちは、このような地域による違いや、男の子と女の子の育ち方の違い、課題の取り組み方の違いなど、子どもたちの環境や行動を多方面から分析しながら、どのように個性を獲得していくのかを見つけないかと思っています。みなさまに長期間にわたりご協力いただいていることによって、さまざまなことが見えてきています。

	出生体重	出生身長	頭位
三重	2987g	49.4cm	33.2cm
大阪	2995g	48.9cm	33.1cm



	母親	父親
三重	3.98時間	2.56時間
大阪	4.17時間	2.31時間

	母親	父親
三重	1.24冊	1.51冊
大阪	1.05冊	2.21冊

	参加	両親とも参加
三重	77.30%	21.08%
大阪	64.70%	27.27%

もうひとつのコホート

すすくコホート三重では、現在小学1・2年生のお子さんのコホート（成熟児コホート）とは別に、三重中央医療センター NICU に入院されていた、小さく生まれたお子さんのコホートも実施しています。募集した時期が短かったため人数は少ないですが、39組のご家族にご協力いただき、現在30組を対象に5歳の観察を行っています。

出生時の体重が2,500g未満を対象にしていますので、2,500gにわずかに足らなかった方から500gちょっとの超低出生体重児の方まで、またおなかの中にいた期間も37週の方から4ヵ月以上早く生まれた方まで、さまざまなお子さんがいらっしゃいます。

観察の時期は、3歳半までは生まれる予定日から数えた月齢（修正月齢）で行い、5歳からはお誕生日から数えた月齢で行っています。内容は成熟児コホートとほとんど同じですが、小さく生まれれば生まれるほど、月齢の小さい時期には修正月齢で考えてもさらに幼いことが多く、特に運動の面では成熟児と同じことができないお子さんも多くみられます。それが、成長とともに次第に追いつき、修正3歳半の時には成熟児のお子さんと同じようすで課題に取り組んでくれます。ただ、ずいぶん早く小さく生まれたお子さんでは、3歳半の時点では追いつくのにまだまだ時間が足りない場合も多くみられます。

観察では外来で診るよりもずっと長い時間をかけており、お子さんの成長ぶりは詳しく見せていただいています。5歳の観察が始まってから、前回まだ幼かったお子さんたちの成長ぶりにスタッフがうれしい驚きを感じる場面が多々あります。しっかり座って話が聞け、おしゃべりも上手になっています。できることが増えた以上に、態度がぐっと成長しています。この成長ぶりをみると、6歳の観察の時にどんなお兄さん・お姉さんになっているのか、今から楽しみです！



研究統括からのご挨拶



河合優年

今年も暑い夏がやってきました。待ち遠しかった夏休みが始まり、暑さに負けず子どもたちは元気いっぱいにお過ごしおられることと思います。しかし、今年は社会で難しい対応をせまられている問題もあります。日本中、計画停電でいつどのようになるのか分からないという漠然とした不安が横たわっています。

『すすくコホート三重』『武庫川チャイルドスタディ』のデータ解析をしている武庫川女子大学子ども発達科学研究センター（兵庫県西宮市）でも、データの解析中や画像処理中に突然停電になった場合を想定し、どのようにすればよいかというような事を考えています。電子情報にとって、突然の停止はデータ全体を破壊する危険性を持っています。みなさまにご協力いただいた資料を一片たりとも無駄にしないよう、研究員一同鋭意努力いたします。

まだまだ、残暑厳しい日が続きますが、みなさまにおかれましても、ご自愛くださいますようお願い申し上げます。

武庫川チャイルドスタディ

（河合・難波）

◆観察スタッフの紹介◆

このコーナーでは、皆さまが武庫川女子大学での観察に来ていただいた際にお会いする、武庫川チャイルドスタディのスタッフを紹介しています。

第2回目は、石川道子を紹介いたします。

5歳時の観察では、お子さまがひとりでさまざまな課題にチャレンジしているようすをバックヤードから見ていただいています。こちらで、機械操作係や記録係とは別に、近所のオバチャンみたいに親しみやすい雰囲気でお母さまに話しかけてくる女性スタッフがいたら、それが石川です。

これまで小児科医として様々なお子さまと接してきた石川は、医師としての豊富な知識はもちろん、長年の経験で培われたすどい観察眼と、子どもたちに対する優しいまなざしを併せ持っています。我々スタッフも、石川の指摘に「あ、なるほど」と納得させられることもしばしばです。

石川は、数年前より武庫川チャイルドスタディのアドバイザーとして研究に参加してきましたが、みなさまとお会いする機会はほとんどありませんでした。昨年度より武庫川女子大学の教員となりましたので、最近は観察にも参加できるようになりました。

現在は不定期で観察に参加していますので、全員にお会いできるわけではないのですが、もし観察にお越しいただいた際におりましたら、小さな疑問でもどんどんお尋ねください。話のなかにはお子さまの特徴の捉え方や子育てに関するヒントがたくさん入っていること間違いなし。医師、というとちょっと身構えてしまうかもしれませんが、近所のオバチャンと井戸端会議、くらいのつもりで気軽にお声掛けください。どうぞよろしく願いいたします。



佐々木、大和、難波、石川

◆観察スタッフの紹介◆



山本初実



山川紀子

観察中の天井あたりから「ギーッ！ギーッ！」と変な音がする時があります。その犯人は観察のカメラ操作とデータ管理担当の森です。

「ギーッ」の音は画像の録画中にカメラを大きめに動かすと出てしまうカメラの操作音です。年々操作音がひどくなり、いろいろ工夫して音を出さないように注意しながらカメラを操作していますが、予想外の動きにあせってしまうと「ギーッ」と鳴らし、時折お子さんをびっくりさせてしまいます。

データ管理は、主に画像データやパソコンゲームの結果の集計管理です。観察後には必ず保存用とバックアップ用HDDにコピーしています。貴重な時間をさいて快く参加して下さったみなさまの大切なデータですので、整理が必要な場合は、他のスタッフにも手伝ってもらいダブルチェックを行って間違いの起こらないように管理しています。



森、大谷、西

5歳の観察からは『同じもの探しゲーム』の実施も担当しています。パソコンのゲームには非常に珍しい(?)、白黒の動かない絵のゲームです。お母さんから離れるのを嫌がっていたかと思えば、なぜか集中して答える子。やりたくないけどどうやら最後まで答えないと終わらないらしいと観念する子。十人十色と言いますが、本当にお子さんによって様々な反応があり、毎回驚かされるので楽しく実施しています。

すすくコホート三重

（山本・山川）